

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

ハスモンヨトウの発生状況および防除対策（技術情報第12号）  
について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考資料として御  
利用ください。

## 記

### 1 発生状況

- (1) 9月2～3日に県内のダイズほ場20地点を選定し、ハスモンヨトウの発生状況を調査した。幼虫は、若齢幼虫を中心に80%のほ場で発生が認められたが、発生程度は地域により、ほ場により異なった（表1）。
- (2) ハスモンヨトウの9月上旬におけるダイズほ場調査の10株当たりの寄生頭数は、平均9.6頭であった。9月の巡回調査の平年値（10.3頭）と比較すると多発生した平成19年より少ない（表2）。
- (3) フェロモントラップによる8月の誘殺状況は、い業研究所（八代市）および阿蘇市波野で平年比多、高原農業研究所（阿蘇市）で平年比やや多、生産環境研究所（合志市）で平年並、山都町鶴底で平年比やや少であった（図）。
- (4) 気象予報（9月4日福岡管区気象台発表）によると向こう1ヶ月の気温は平年並、降水量は少ない予想であり、本虫の発生に好適な気象条件である。
- (5) 9月上旬現在のダイズほ場におけるハスモンヨトウの発生量は平年並である。ただし、フェロモントラップへの誘殺数が高い水準で推移し、気象も好適条件であることから、今後の発生には注意が必要である。

### 2 防除対策

- (1) ほ場ごとに発生が異なるため、定期的にはほ場を見回り、早期発見に努める。
- (2) 防除適期は、卵塊が葉裏に産卵され、孵化した若齢幼虫が集団となって食害する時期（白変葉期）である。周囲に分散した老齢幼虫は、薬剤の効果が低下する。

問い合わせ先 熊本県病虫害防除所 (生産環境研究所病虫害研究室) 担当：山田、加賀山 TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493
---

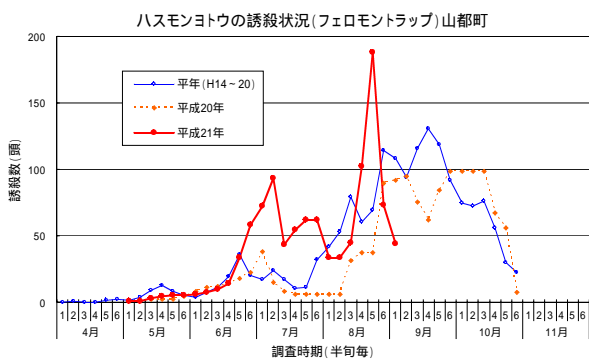
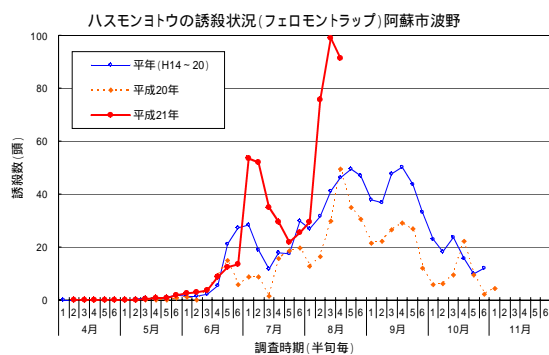
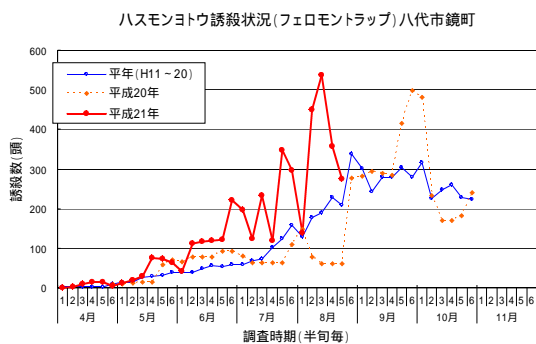
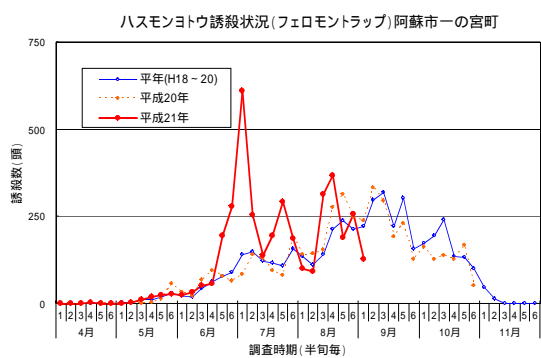
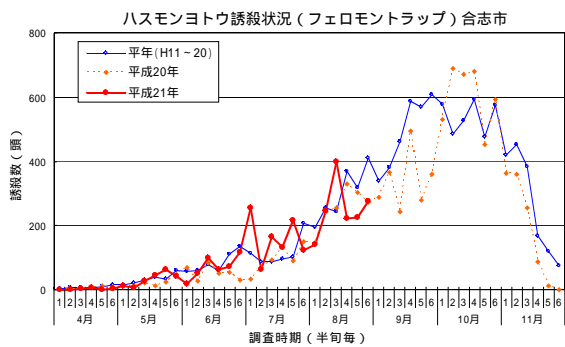
表 ダイズにおけるハスモンヨトウの発生状況

	地点名	調査株数	寄生株率(%)	卵塊数	齢期別幼虫数(頭/10株)			
					若齢	中齢	老齢	幼虫計
9/3	熊本市秋津町	50	8.0	2	26.4	0.6	0	27.4
9/3	熊本市秋津町	50	32.0	3	55.0	3.2	0.2	48.0
9/3	熊本市供合1	50	78.0	0	8.6	14.8	1.6	25.0
9/3	熊本市供合2	50	6.0	0	0	0.6	0.2	0.8
9/3	城南町碓1	50	14.0	3	28.8	0	0	29.4
9/3	城南町碓2	50	20.0	0	0	2.4	0.2	2.6
9/3	玉名市北牟田	50	10.0	1	6.2	0.2	0	6.6
9/3	玉名市北牟田	50	6.0	1	11.8	0	0	12.0
9/3	山鹿市鹿本町	50	0.0	0	0	0	0	0
9/3	山鹿市鹿本町	50	20.0	0	11.0	2.8	0	13.6
9/3	菊池市赤星1	50	8.0	0	20.6	1.2	0	21.8
9/3	菊池市赤星2	50	28.0	0	0.4	2.8	0	3.2
9/3	合志市竹迫1	50	10.0	0	0	0.4	0.6	1.0
9/3	合志市竹迫2	50	2.0	0	0	0.2	0	0.2
9/3	大津町陣内1	50	0.0	0	0	0	0	0
9/3	大津町陣内2	50	2.0	1	0	0	0	0.2
9/2	阿蘇市黒川1	50	0.0	0	0	0	0	0
9/2	阿蘇市黒川2	50	0.0	0	0	0	0	0
9/3	嘉島町六嘉1	50	4.0	0	0	0.6	0	0.6
9/3	嘉島町六嘉2	50	2.0	0	0	0.2	0	0.2
平均			12.5	0.6	7.9	1.5	0.1	9.6

表2 巡回調査におけるハスモンヨトウの発生状況

調査年度	8月中旬	9月上旬	9月中旬
平成21年	13.8	9.6	-
平成20年	10.0	-	4.4
平成19年	39.4	-	30.7
平年値	10.8	-	10.3

注) 数値は、10株当たりの寄生幼虫数(頭)



**図 ハスモンヨトウのフェロモントラップへの誘殺状況**  
 病害虫防除所のホームページ (<http://www.jpjn.ne.jp/kumamoto/>) に掲載しています。